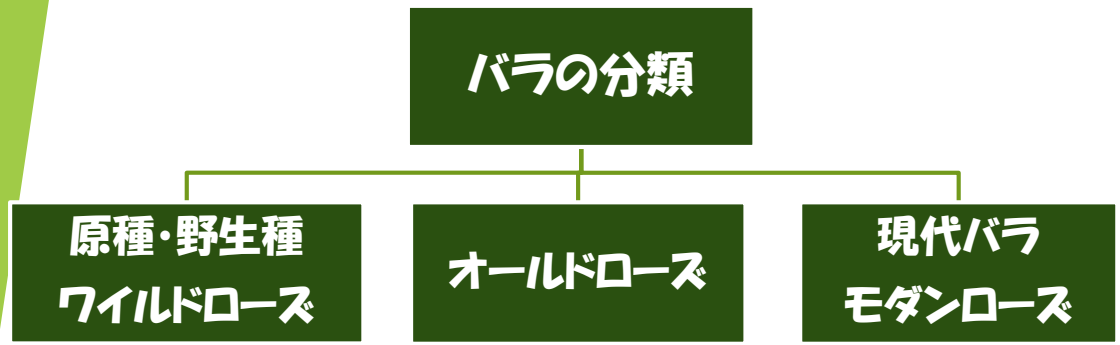
花と木の実践養成教室

令和3年8月24日（火）

バラの栽培管理

バラは紀元前12世紀ごろには、すでに古代ペルシャで栽培されていたといわれ、人類にもっともなじみ深い植物の一つです。薬用、香料植物として利用され始め、やがて観賞用としても栽培されるようになり、園芸植物として発展していきました。特に中国や日本のバラがヨーロッパに紹介された18世紀後半ごろから、バラの育種は飛躍的な発展を遂げ、現代バラの誕生へとつながっていきます。

バラ科バラ属に属する植物で、3分類4系統に分けられます。



系　統	
ハイブリッドティ(HT)	大輪種
フロリバンダ(F)	房咲き中輪種
つるバラ(CL)	つる状の枝で長く伸びる
ミニバラ(Min)	小輪種

バラを知ることが、
上手く育てる為には必要です！

風通しと日当たりの良い場所を好みます。
また、生育に適した温度は20℃前後で、7℃以下になると生育を休止し、4℃以下になると休眠に入ります。
また、27℃を超すと生育が悪くなります。

排水性・保水性・保肥力のある土が良く、一度利用した土だけで植え付けると連作障害（いや地）を起こします。
また、バラは定期的に肥料を必要とし、3月・6月・9月・12月に適量を施します。

元気な花を咲かせる為に剪定をします！

○春の花を咲かせる為の剪定（1月～2月）
系統によって異なりますが、剪定前の樹高の1/2～1/3くらいの外芽の上で剪定します。

○整枝・咲き柄切り（5月下旬～6月上旬）
今年伸びた枝の長さ半分くらいの所で切ります。

○秋の花を咲かせる為の剪定（9月上旬）
10月下旬頃に咲く花が美しいので、この時期に剪定します。
（剪定後40日～45日で開花）
※近年は、気温上昇の影響で早く開花します。
剪定前の高さ2/3くらいに切ります。

バラは病害虫が多く発生します！

日本の温暖な気候では、バラの生育期間が長く、病害虫が多く発生するので、年間を通してきめ細かく、的確な病害虫対策が必要となります。

バラに合った環境づくり　　バラを健康に育てる

適切な薬剤の予防散布　　病害虫の早期発見、早期対策

実習の為に、少し早いですが剪定を実施致します。
秋のバラの開花は剪定してから40～45日で開花するので、
10月5日前後で開花します。

根元から発生している茎は、台木のノイバラなので根元から取り除きます。

剪定前の高さの2/3
くらいの高さに切ります！

充実した外芽の葉の上で剪定します。

剪定する高さは、
難しいですね！

剪定が終りました10月の開花が楽しみです！